

ライフストーリーカード

仏教系大学に学び、哲学科宗教学専攻でしたが、教員免許（中高・英語）を取得した。	最初の渡航はタイのカンボジア難民キャンプでした。
英語教員となり、「なんで英語を勉強するの」という生徒と悪戦苦闘した。	工業高校での修学旅行で遊覧船を下船したところ、生徒に船のエンジンを見たいと頼まれた。
地域のボランティア活動に、生徒をさそった。	自分は忙しくなり、あまり活動ができなくなったが、やがて、その生徒は立派にリーダーとなっていた。
埼玉県で高等学校に10年間、つとめた。	高校に在職しながら、コロンビア大学ティチャーズカレッジ日本校で学び、MAを取得した。
1995年から96年にかけて5年間カナダ・ビクトリアで、ディビッドセルビーさんとのセミナーをしていた。	グローバル教育をつうじて、仲間とともに仲間から学び、世界とつながる教育の可能性に
カナダでのセミナーと並行して、英語教師と、フィリピンで教育 NGO を訪ねるツアーを行った。	村の人たちが社会課題を演劇をつうじて学ぶ手法に出会う。
2000年からはじまったGPPAC（ジーパック）の活動で、平和教育として、紛争解決教育の推進にかかわる。	平和教育は戦争についてのみならず、非暴力による、ということに目がひらかれる。
2002年エルサレムでの紛争解決会議に参加した。パレスチナ自治区も訪問。その後、ケニア、クリミア、アルメニアなどでの会議に参加した	SARS 流行の懸念があり、帰国後、一週間、自宅待機させられた。
2005年からのESD（持続可能な開発のための教育）推進をするための民間団体にかかわる。	さまざまな教育 NGO や団体との交流をとおして、教科横断的カリキュラムの可能性に魅せられた。
還暦を機に円満退職し28年間つとめた名古屋から、浦和に戻った。	隠居生活の毎日。ここ数年、(ベルファスト・サンセバスチャン・マルセイユ・グダニスク)での欧州歴史教育会議に参加している。